

平成28年度 第4回北杜市立病院改革プラン策定会議会議録

- 1 開催日時 平成29年3月8日（水曜日）
午後3時開会～午後4時30分閉会
- 2 開催場所 北杜市役所 西会議室
- 3 出席委員 北杜市行政改革推進委員会会長、北杜市社会福祉協議会会長、北杜市消費生活研究会会長、北杜市健康づくり推進協議会会長、塩川病院長、甲陽病院長
- 4 欠席委員 公認会計士、北杜市地域委員会連絡協議会会長、北杜市国民健康保険運営協議会会長、北巨摩医師会副会長、
- 5 事務局員 市民部長、塩川病院管理局長、甲陽病院管理局長、健康増進課長、塩川病院事務長、甲陽病院事務長、塩川病院医事課長、甲陽病院医事課長、市立病院担当 有限責任監査法人トーマツ
- 6 議 題 (1) 第3次北杜市立病院改革プラン（案）について
・内容修正
・パブリックコメント
(2) その他
- 7 公開・非公開の別 公開 非公開（理由：非公開の場合は理由を記入）
- 8 傍聴人数 0人

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 会長あいさつ
- 4 議事

議長：第1号議案『第3次北杜市立病院改革プラン（案）』の内容修正、パブリックコメントについて事務局に説明を求める。

事務局：『第3次北杜市立病院改革プラン（案）』の内容修正、パブリックコメントについて説明。

議長：意見・質問等を問う。

委員：市と市民の間にギャップを感じる。住民との話し合い場が必要ではないか。

議長：パブリックコメントをどう活用していくのか。

事務局：プランについて、広く市民の意見を募る目的で募集を行った。

議長：パブリックコメントの結果は公表するのか。

事務局：今回の会議録と一緒にホームページ上で公開することになる。

議長：市民ニーズをくみ取ってもらいたいという意見についてはどうか。

事務局：このプランの中では病床機能をどうするかが一番の目的であり、次に経営の効率化がポイントだった。この会の委員が市民の代表者という考えのもと、意見を伺うという形を取った。

委員：プランの中では経営のことしか言ってない。方向性が見えない。

事務局：2病院は医師や看護師が不足する中、まずは人的確保をした上で役割分担を決める検討をしていかななくてはならない。

委員：病院の役割分担とはどういう意味か。

委員：これからは、開業医や診療所、訪問看護ステーションとどう連携を図っていくかが重要である。北杜市総合計画で地域医療の充実について、誰が検討しているのか。

事務局：地域包括ケアシステムはそれぞれ役割があり、病院は医療機関として果たす役割がある。29年度に「医療等介護の連絡協議会」を市が設置することを考えている。そこで関係者に集まっただき、連携を図る中で役割が見えてくると考えている。

委員：地域医療の充実については、市が中心となって医療関係者を巻き込んでいかないと10年後に大変なことになる。

委員：10キロしか離れてない所に同じような病院が2つある。このまま2病院でやっていいのか疑問が残る。2病院を合わせれば1+1=3になって効率よく、レベルの高い病院になるのではないか。

事務局：貴重な意見をいただいたと思っている。合併後12年経過したので、どこかで検討していく必要があると思う。

委員：在宅医療は減っている。家で診る人がいないからだろう。病床が減り、在宅でも診れないとなると施設へあふれ出るのは确实だ。在宅医療の需要がどのくらいあるのか掴めないで動きづらい。

議長：いくつか意見が出たが、プランやパブリックコメントの回答で反映できるものがあるか。また、回答をもう少し親切にわかりやすくしてもらいたい。

委員：在宅を必要としている人数がわからないということだが、病床を削減されたら在宅医療をする覚悟があるかどうかだ。

議長：このプランは病院だけでなく、診療所、介護との連携も視野に入れた中で検討してきたと言えると思う。

委員：あとはインフラの問題だ。部署を横断して検討しないと地域医療の問題は解決しない。

委員：行政側と、医師の間に隔たりを感じる。意思疎通を図る必要がある。

議長：病院が地域医療にどう貢献できるかという意見が多く出ているが、プランのどこに盛り込まれているのか。不足しているなら補っていくということだが。

事務局：いただいた意見は貴重なご意見だと思うが、大きな問題なのでこの場でお答えすることはできない。医師との話し合いの場は作らなければならないので、今後、委員会等が立ち上げられれば良いと思っている。

議長：パブリックコメントで回答するのか、プランに盛り込むのか。引き続き意見をお願いしたい。

委員：在宅医療、地域医療をもっと考えたプランになるといい。

議長：これまでに出了意見プラン本体に反映させることはできるのか。

事務局：できると思う。

議長：事務局にはパブリックコメントの回答を見直し、プラン本体の不足部分を補う作業をお願いしたい。甲陽病院の介護病床はこの先どうなるのか。

委員：制度が来年3月31日に廃止になるはずだったが、6年延期になった。

議長：具体的にどうするかは決まってないのか。

委員：経営効率的に医療療養の方がいいので転換していくつもりだ。

議長：議事としては以上としたいが、事務局で確認しておくことがあるか。

事務局：パブリックコメントを受けてプラン本体に入れる部分と、具体的な回答ができる部分は、そのようにしたい。

議長：今日の意見も反映できるようなら反映してもらいたい。

事務局：わかりました。

委員：プランの1ページに市長のあいさつを載せると思うが、在宅医療の方向性を盛り込んでみてはどうか。

事務局：プランは病院職員が取り組むものであり、市民向けではないので、市長のあいさつは予定していない。

委員：市民は心配していると思う。安心できるものを工夫して載せてもらいたい。

事務局：検討する。

議長：第1号議案については以上とする。『その他』で何かあるか。

委員：自分が職員アンケート結果やプラン（案）を事前に病院職員に提示しなかったことで、本会にも迷惑をかけた。申し訳なかった。あと、病院の取り組みについて、いい案があったらトーマツに提案してもらいたい。

委員：病院職員に資料を提示するのは院長ではなく事務長、管理局長がやるべきことだ。

議長：そのようなことを踏まえてやってもらいたい。

事務局：『今後の予定』について説明。

議 長：議事は以上で閉じる。

事務局：今後は両病院長と小川会長に見ていただき、プランをまとめた方がよろしいか。

一 同：異議なし。

事務局：内容変更の部分が出てくるが、ご了承いただきたい。

5, 閉会

平成 年 月 日

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印